

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【公開番号】特開2015-31940(P2015-31940A)

【公開日】平成27年2月16日(2015.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-010

【出願番号】特願2013-163922(P2013-163922)

【国際特許分類】

G 02 B 5/20 (2006.01)

G 02 F 1/1335 (2006.01)

G 02 F 1/13 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/20 1 0 1

G 02 F 1/1335 5 0 5

G 02 F 1/13 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月1日(2016.8.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像を表示する液晶パネルに用いられ、光を透過させることにより該映像の色を生成するカラーフィルターであって、

前記カラーフィルターは、

光を透過させることにより前記映像の色を生成する色材層と、

前記色材層のうち前記光が入射する面側または該色材層のうち該光が出射する面側に形成され、かつ、透光性を有し、かつ、レーザー光が照射された部分が黒色に変化する変化層と、を備える

カラーフィルター。

【請求項2】

前記変化層は、前記色材層のうち前記光が入射する面側に形成される

請求項1に記載のカラーフィルター。

【請求項3】

前記変化層は、前記色材層のうち前記光が出射する面側に形成される

請求項1に記載のカラーフィルター。

【請求項4】

前記変化層は、有機膜で構成される有機膜層、または、導電膜が形成される導電膜層である

請求項1～3のいずれか1項に記載のカラーフィルター。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか1項に記載のカラーフィルターを備える液晶パネル。

【請求項6】

請求項1～4のいずれか1項に記載のカラーフィルターを使用した前記液晶パネルに含まれる、輝点としての欠陥画素の修復方法であって、

前記変化層のうち前記欠陥画素に対応する部分にレーザー光を照射する工程を含む

修復方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記目的を達成するために、本発明の一態様に係るカラーフィルターは、映像を表示する液晶パネルに用いられ、光を透過させることにより該映像の色を生成するカラーフィルターである。前記カラーフィルターは、光を透過させることにより前記映像の色を生成する色材層と、前記色材層のうち前記光が入射する面側または該色材層のうち該光が出射する面側に形成され、かつ、透光性を有し、かつ、レーザー光が照射された部分が黒色に変化する変化層と、を備える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

変化層12は、初期状態では、光を透過させる透明な層である。すなわち、変化層12は、透光性を有する。変化層12は、レーザー光が照射された部分が黒色に変化する層(膜)である。すなわち、変化層12は、黒化膜である。なお、変化層12のうち黒色に変化した部分は、光を透過させない。